

①基本目標

資料 1

基本目標1:正しくおいしく食べましょう!

(1)栄養・食生活

◇行政の取組み

達成状況

達成:○ 未達成×

課題1:ライフスタイルに合わせた正しい食習慣を身につける	H30年度	令和元度 (12月月末時点)
取組①食に関する情報をまとめて発信できる場所を設置する		
・食育のバナーを作るなど、住民が活用しやすいようにホームページの整備を図る	○	○
・若い世代が情報を得やすいように、多様な場所の開拓(駅・銀行・医療機関・商業施設など)や興味を持つ方法で食に関する情報を発信していく	○	○
取組②料理教室など、食に関する体験の機会を増やす		
・若い世代(20~30歳代・中学生など)に対して料理教室などを開催し、食に関する体験の機会を増やす	○	○
取組③地域での食生活改善行動がしやすい仕組みをつくる		
・各小学校区などで「あすなる会」が活動しやすいしくみをつくる	○	○
取組④食に関する普及活動を実施する人材を育成する		
・「あすなる会」の養成講座の定期開催を目指す	○	○
・「せいか食育劇団もぐもぐ」のメンバーの増員を図る	○	○
取組⑤専門職による相談体制を充実させる		
・幼児健診(1歳6か月児健診・2歳児歯科健診・3歳6か月児健診)で栄養士による相談を増設し相談体制を充実させる	○	○
取組⑥食に関する団体・組織のネットワークを強化する		
・若い母親世代に対し、食に興味を持ってもらうための取組を「あすなる会」や子育て支援センターと連携して実施する	○	○
・商工会を通して、地域の商店で食の情報発信がスムーズにできるように連携していく	○	○
課題2:全世代において「食育」への関心を高める		
取組①地域で一緒に料理をしたり食べる機会を増やす		
・「あすなる会」のが実施する料理教室を増やせるように活動体制を強化する	○	○
取組②食育の意味を知っている人を増やす		
・男性や若い世代に対して情報発信を強化する	○	○
取組③体験型の食育イベントを増やす		
・せいか365プロジェクト「体感!野菜のそごちから」において、野菜に興味をもってもらうイベントなどを実施する	○	○
達成率	100%	100%

【令和元年度に新たに取組んだこと】

[課題1]

<取組①>・ホームページの「食」のバナーの充実やレシピ検索の整理実施。

・食情報の発信場所拡充(祝園駅東西連絡通路等への掲示)と「京都府食の健康づくり応援店」登録支援実施。(登録店4店舗)

<取組②>・「せいか365あすなるクッキング」として新規料理教室の開催。(全8回)

<取組⑤>・乳幼児健診での栄養個別相談実施。

[課題2]

<取組①>・「せいか365あすなるクッキング」として、中学生や妊婦、男性を対象とした料理教室等を開催。

<取組③>・せいか365プロジェクト「いつも野菜カフェレストラン」で食農体験の実施。

【令和2年度に取組むこと】

○「京都府食の健康づくり応援店」登録店舗を開拓拡大し、食環境の充実。

○食育推進団体(せいか365プロジェクト等)の継続支援及び、食生活改善推進員養成等の人材発掘・育成。

基本目標1:正しくおいしく食べましょう！

(2) 歯と口の健康

◇行政の取組み

達成状況

達成:○ 未達成×

課題1:生涯、自分の歯で食べる楽しみを味わうことができる		H30年度	令和元度 (12月月末時点)
取組①歯の健康に関する情報を発信し、住民の歯の健康づくりに対する意識を高める			
・歯周病と生活習慣との関連や定期健診の必要性について、広報誌・ホームページの活用や公共機関、商業施設などを利用して啓発する		×	×
・歯科講演会を実施し、啓発を図る		○	○
・歯科情報に触れる機会が増えるよう、保健事業などで歯科情報を掲示する		○	○
取組②歯科健診を受けやすい環境づくりを推進する			
・町内歯科医療機関の場所や診療科目情報をわかりやすいリーフレットにして配布する		○	○
・歯科医師会及び歯科衛生士と協議の場を持ち、健診を受けやすい環境づくりを進める		×	×
達成率		60%	60%

【令和元年度に取り組んだこと】

[課題1]

- <取組①>・歯科の講演会開催及びテレビ放送による情報発信。
 ・保健センターに歯科情報(第一大臼歯)に関するポスターを掲示。
 ・健康カレンダーへの歯科保健に関するクイズを掲載。
 <取組②>・健康カレンダーに歯科医院の一覧表を継続して掲載。

【令和2年度に取り組むこと】

- 歯科医師や歯科衛生士と協議する場をもつ。(全世代をターゲットにした取り組みや啓発強化等を検討)
 ○歯科の健康講演会の継続実施、内容充実検討。

基本目標2:楽しく体を動かそう!

(1)運動・身体活動

◇行政の取組み

達成状況

達成:○ 未達成×

課題1:子供が身体を使う楽しさを身に着ける	H30年度	令和元度 (12月月末時点)
取組①親子を対象にした昔遊びや手づくり遊びの場を増やす		
・親子で参加できるイベントと合わせ身体活動の必要性を学ぶ場所や機会をつくる	○	○
取組②関係機関が協力しあい、子どもの体力の向上の取組をする		
・関係課・体育協会・小中学校と、問題の共有や対策について協議の場を設け取組の充実を図る	×	×
課題2:みんなが自分にあった運動を実践する		
取組①年齢に応じた運動についての情報発信と学ぶ機会を充実させる		
・運動や外遊びの重要性について、乳幼児健診の場などを利用して啓発を行う	○	○
・運動の重要性についてデータや数値を活用し、年齢に応じた啓発を図る	×	○
・ロコモティブシンドロームについて、定期的な広報掲載や啓発場所の拡大を図る	○	○
取組②専門家による運動相談ができる場を充実させる		
・専門的な相談の場である特定健診の結果説明会や健康教室の周知を強化する	○	○
・体育協会など関係機関や団体と連携を図り、相談の場の充実を図る	○	○
課題3:運動に取り組みやすい環境づくりをする		
取組①運動に関する仲間づくりやコミュニティができるようなくみづくりをする		
・健康教室参加者の自主グループづくりの支援をする	○	○
・住民協働の活動支援・育成により、運動づくりに取り組む団体数やイベント数を増やす	○	○
取組②戸外で身体を動かすイベントを定期的開催する		
・定期のウォーキングイベントだけでなく、身体を動かすイベントを多様な視点で開催する	○	○
・若い世代が運動するきっかけとして、親子で参加できるイベントを企画・実施する	○	○
取組③様々な年代の人が楽しく参加できる運動イベントを開催する		
・ウォークラリーなど誰でも参加できるイベントを実施する	○	○
取組④地域でウォーキングロードなどをつくり、イベントを企画する		
・「歩く」をテーマに住民協働でウォーキングコースの作成やイベントを実施する	○	○
・「いちご☆体操プロジェクト」でいちご体操の啓発やイベントの拡充を進めていく	○	○
取組⑤身近に運動を楽しめる施設や場所などの環境を整備する		
・町内各課が連携して、運動できる環境整備を推進する	○	○
・無関心層が運動するきっかけづくりとして、健康ポイント制度の導入を進める	○	○
達成率	87.50%	93.75%

【令和元年度に取り組んだこと】

[課題1]

<取組①>・親子参加の遊びイベントの実施。(第4回せいかお宝発見ウォーク、せいか祭り(里山の水鉄砲)、健康づくりプロジェクト:森の基地、いつも野菜カフェレストラン)

[課題2]

<取組①>・健康ポイントとせいか歩数計アプリの連携による運動継続のきっかけづくり開始。

[課題3]

<取組①>・まち歩き・お宝発見ウォーク実行委員会及び健康づくりプロジェクト等の活動支援(育成)実施。(いきいき健康ウォーク、軽やか同窓会、いちご体操、わくわく健康里山の会、いつも野菜カフェレストラン(新)等)

<取組④>・せいか祭りスタンプラリー、せいかお宝発見ウォーク等の実施。

【令和2年度に取り組むこと】

○子どもの体力向上の取組等について、関係機関(養護教諭・体協・町運動施設)等との話し合いの場の設定。

○年齢に応じた運動や遊びについて、幼児健診での配布媒体の見直し。

○健康ポイント事業利用者の拡大。(新規開拓に向け、保健センターにポイント付与機設置)

基本目標3:みんなでニコニコ健康生活！

(1)生活習慣病・循環器疾患・がん

◇行政の取組み

達成状況

達成:○ 未達成×

課題1:望ましい生活習慣を身につける	H30年度	令和元度 (12月月末時点)
取組①健康づくりを実践している住民グループを支援する		
・教室終了後の生活習慣改善につながる住民やグループを支援する	○	○
・健康づくり活動をするグループや人材を地域の中で発掘する	○	○
取組②住民に必要な健康情報を発信する		
・啓発の場を商業施設など人が集まる場所にも増やす	○	○
・子どもの生活習慣の課題や方策について、小中学校と協議の場をもつ	×	×
・子どもを対象にした生活習慣病確立のためのリーフレットを作成し、配布する	×	○
取組③生活習慣病予防のための健康教室や講演会を開催する		
・若い世代への健康教室や講演会の周知を強化する	○	○
課題2:健診を活用した健康づくりを推進する		
取組①地域で情報交換し、受診勧奨しあうしくみづくりをする		
・地域で活動しているグループと連携し、グループを通じて地域住民への受診勧奨を行う	×	○
取組②健診の必要性についての普及啓発を強化する		
・「家族の健康カレンダー」を活用し、健診の必要性についての啓発を拡充する	○	○
・関係課や医療機関と連携し、特定健診の対象者全員へ案内を送付する	○	○
・子宮がん検診で、受診率が低く無関心層の多い20-30歳代への受診勧奨を強化する	○	○
取組③健診受診後の保健指導を充実させ、自己管理ができるように支援する		
・新たな健康教室を開催し、保健指導メニューの充実を図る	○	○
・生活改善に向けた支援や指導について、訪問や電話など積極的なアプローチをする	○	○
取組④みんなが受けやすい健診体制を整備する		
・乳がん検診の受診場所の拡大や、子宮がん検診の受診期間の拡充を図る	○	○
・健(検)診時の託児を設ける	○	○
達成率	78.60%	92.80%

【令和元年度に取り組んだこと】

[課題1]

- <取組①>・健康教室終了者のせいか365プロジェクトでの企画・実践によるグループ支援。
- <取組②>・体操教室や飲食店へ講演会や教室の案内を配架し、周知強化。
- <取組③>・保育所や幼稚園、育児サークルへの健康講演会や健康づくりイベントチラシ配布による周知。

[課題2]

- <取組①>・東畑老人会で健康教育を実施し、団体への受診勧奨実施。
- <取組②>・がん検診の実施期日や申込を広報誌に掲載し、健(検)診啓発強化。
- <取組③>・国保医療課等と連携して水中ウォーキング教室を開催し、保健指導のメニューを増設。
・健診結果相談会を土曜日の他のイベント(せいか健康スポーツフェスティバル)と同時開催。
- <取組④>・乳がん検診指定医療機関を1機関追加、子宮がん検診の再勧奨、受診期間延長を行い、受診体制を整備。

【令和2年度に取り組むこと】

- 地域で活動する住民グループと連携した健診受診勧奨の実施。
- 受診率向上のため、受診しやすい環境整備(医療機関・実施期間の拡大等)や受診率の低い若い世代への受診勧奨の強化。
- 小中学校と情報交換の場を持ち、児童の生活習慣や健康問題の把握と支援についての検討。
- 若い世代や参加歴のない人の参加が得られるよう、健康教室の実施日時や内容の見直し。

基本目標3:みんなでニコニコ健康生活！

(2)たばこ・アルコール

◇行政の取組み

達成状況

達成:○ 未達成×

課題1:喫煙率を低下させる	H30年度	令和元度 (12月月末時点)
取組①禁煙・分煙を推進する		
・施設の禁煙対策が進むよう働きかける	○	○
取組②COPDの知識を普及啓発する		
・COPDの啓発について、禁煙対策と一体的にすすめる	○	○
・喫煙者に対して、COPDのスクリーニング票を活用した啓発や予備軍への指導を行う	○	○
取組③喫煙による健康への影響について情報提供する		
・京都府・学校との連携で未成年者への教育内容の充実を図る	○	○
・妊婦の喫煙状況を把握し、喫煙者については個別的な禁煙支援をしていく	○	○
・各種母子保健事業を通じて養育者・同居者の禁煙状況を把握し、啓発媒体を活用した禁煙支援、啓発を行う	○	○
・禁煙希望者に、禁煙のための情報提供や禁煙外来などの支援を受けられる場所を掲載したチラシを作成し配布する	×	×
・広報誌やホームページ、キャラクターの活用など多様な媒体を活用して啓発を強化する	○	○
・世界禁煙デーや禁煙週間に積極的な啓発に取り組む	○	○
課題2:適切なお酒との付き合い方が理解できる		
取組①アルコールが健康に及ぼす影響や適切な飲酒量について情報提供する		
・京都府、学校と連携し教育内容の充実を図り、未成年者への教育を強化する	○	○
・妊婦教室で啓発を図る	○	○
・妊婦届出時に飲酒状況を把握し、飲酒者に対しては個別支援を実施する	○	○
・多量飲酒者(アルコール依存症)への支援は、京都府と連携した個別支援を進める	○	○
・断酒会、アルコール依存症者治療対応病院などの情報提供を行う	○	○
・広報誌やホームページ、キャラクターの活用など多様な媒体を活用して啓発を強化する	○	○
達成率	93.30%	93.30%

【令和元年度に取り組んだこと】

[課題1]

<取組②>・女性がん検診・結果相談会でのCOPDの周知啓発や保健指導実施。

<取組③>・健康講演会での禁煙の情報発信。(2回実施:子育て世代向け、成人向け)

[課題2]

<取組①>・妊娠届出時の面談や妊婦教室での禁煙や禁酒の情報提供実施。

【令和2年度に取り組むこと】

○禁煙や禁酒についての健康講演会を専門職(医師、薬剤師等)の協力を得、開催する。

○喫煙や飲酒に対しての教育や指導支援を実施している課や保健所等と情報共有に努める。

基本目標4:笑顔でいきいき過ごしましょう!

(1)休養・こころの健康づくり

◇行政の取組み

達成状況

達成:○ 未達成×

課題1:うつ病など、こころの病気を予防する	H30年度	令和元度 (12月月末時点)
取組①こころの病気についての正しい知識と理解を促進する		
・健康教室や講演会、健診で自殺、うつ病などこころの健康づくりに関する啓発を図る	○	○
・自殺予防週間や自殺対策強化月間に、積極的な啓発に取り組む	○	×
取組②心の病気について、相談や支援できる人材を育成する		
・京都府や関係課と連携し、こころの健康推進員の育成や事業の周知を図る	○	×
取組③こころの病気の専門的な相談窓口の存在について周知する		
・相談窓口になる機関について周知を進める	○	○
取組④こころの病気をもつ人を支える専門機関のネットワークを強化する		
・関係機関と連携し、こころの病気をもつ人を支える居場所づくりを目指す	○	○
・関係機関と連携して、自殺対策の強化を図る	×	○
課題2:楽しく安心して子育てができる		
取組①地域で子育て家庭を見守り、支援する		
・育児不安が強い養育者や問診票で支援が必要と判断された者へのサポートを充実させる	○	○
・母子保健事業の充実と関係機関との連携により、地域で子育て支援をするネットワークづくりを進める	×	○
取組②地域の中で子育てについて相談・支援できる人材を育成する		
・地域での子育ての相談・育児サポートができる人材を見つけ、活動ができる場を紹介する	○	×
取組③母子保健・子育て支援事業を充実させる		
・妊娠期からの切れ目のない支援が行えるしくみをつくる	○	○
・母子保健事業の機会を活用し、若い世代に対し、睡眠や休養についての啓発を行う	×	×
・育児で孤立する人や育児に肯定感を持っていない人を母子保健事業を通じて把握し、安心して子育てができるように支援する	○	○
取組④いろいろなニーズに対応した子育て支援情報を発信する		
・町内全中学校での乳幼児交流事業の実施を目指し、他課と連携する	×	×
達成率	69.20%	61.50%

【令和元年度に取り組んだこと】

[課題1]

<取組①>・産後うつに関するリーフレットを配布し、産後のこころの健康に関する啓発実施。

<取組③>・こころの病気を抱える人に対する、医療機関連携と受診調整の実施。関係機関との情報共有及び当事者や家族支援の実施。

<取組④>・「居場所」をテーマにしたせいか365プロジェクトの立ち上げにより、不登校の児童や保護者、子育て世代等の参加による多世代交流の実施。

・自殺予防対策計画策定に携わり、各機関の役割について整理・共有。

[課題2]

<取組①>・妊娠届出時の全数面談で、支援が必要な者への早期支援の実施。

・産前産後サポート事業において、多職種・多機関との連携による支援を実施。

・精華町母子健康包括支援センター運営検討委員会にて、関係機関との意見交換とネットワークづくりを推進。

【令和2年度に取り組むこと】

○こころの病気の周知強化や自殺や不登校等のこころの健康づくりについて、関係機関と連携し課題を整理。

○自殺対策強化月間等に、周知啓発の強化。(掲示や図書館の関係図書コーナー設置、ホームページ作成等)

○心の健康や睡眠・休養についてのリーフレットを乳幼児健診等で配布し、啓発実施。

基本目標4:笑顔でいきいき過ごしましょう!

(2)生きがい・ふれあい・社会参加

◇行政の取組み

達成状況

達成:○ 未達成×

課題1:自分を認めた生き方ができる	H30年度	令和元度 (12月月末時点)
取組①自己肯定感を高める学習の場を作る		
・保健事業で、元気増進軸を増やすことを意識した運営をしていく	○	○
・子育て世代包括支援センターを設立し、妊娠期から切れ目なく、自分らしく安心して子育てが続けられるような支援の充実を図る	○	○
課題2:社会の中で自分らしい力を発揮できる		
取組①若い世代の人が参加できる仕組みを考え、世代間交流の機会を持つ		
・中学生と赤ちゃんの交流会を拡充できるよう連携する	○	×
・若い世代のニーズ把握を進める	×	○
取組②地域のリーダーを育成する		
・事業を通じてリーダーを発掘し、地域型のせいか健康づくりプロジェクトの拡大を図る	×	○
・せいか健康づくりプロジェクトの参画者、プロジェクト数を増やす	○	○
取組③自分らしい力を発揮する場の周知をする		
・せいか健康づくりプロジェクトに参加・参画しやすいように、活動やルールなどの周知を行う	○	○
・社会活動に積極的な60歳前後にターゲットを絞って周知を行う	×	×
・パネルの設置など、健康づくり情報が得やすい工夫を図る	○	○
達成率	66.6%	77.7%

【令和元年度に取り組んだこと】

[課題1]

<取組①>・母子・成人保健事業において、元気増進軸を組み入れた事業実施。
・産後ケア宿泊型事業の立ち上げに向けた調整。

[課題2]

<取組①>・新たな5つのせいか365プロジェクトの開催で、若い世代の参加者があった。
<取組②>・地域拠点(お寺)を活用した地域型のプロジェクトが1つ発足した。
・せいか365プロジェクトセミナーから、5つのせいか365プロジェクトができ、参画者が増加した。

<取組③>・保健事業の際に、プロジェクト活動チラシを設置し、活動周知を図った。
・文化・スポーツサークル情報冊子へのプロジェクト内容掲載。

【令和2年度に取り組むこと】

○プロジェクト代表者との健康づくりの取組拡充やプロジェクトの情報発信の実施。

②各基本目標に共通した取り組み

しくみづくり・人づくり・プロジェクトづくり

【令和元年度に取り組んだこと】

●しくみづくり

- (1)「せいか365プロジェクト活動セミナー」の開催と5つの新規せいか365プロジェクト立ち上げ。
4月17日:企画会議の開催。(50人参加) 8月26日:中間発表会(54人参加) 現在、随時企画実践中
3月19日:プロジェクト報告会開催予定。
- (2)既存のプロジェクトにより「せいか365健康づくりプロジェクト交流会」を年2回開催。活動情報交換及び交流、研修を住民主体で実施。6月30日(37人参加)、11月24日(24人参加)

●人づくり

新規せいか365プロジェクトの企画・実施を町職員及び住民協働で実施し、人材育成を実施。

●プロジェクトづくり

住民の主体性を大切に、5つの新規のプロジェクトの企画実施を支援。

【令和2年度に取り組むこと】

- 既存のプロジェクトの交流会及び新規プロジェクトや参画者の活動を支援し、既存プロジェクトと新規プロジェクトの活動がつながるようコーディネート。